

# 平成 29 年度 高校生国際理解セミナー

平成 29 年 12 月 23 日（土・祝日）

～講演、体験発表、意見交換、コーアクション～



平成 29 年度の「高校生国際理解セミナー」（広島ユネスコ協会と広島市青少年センターが主催）が、12 月 23 日（土・祝日）、同センターで行われました。この日は広島大学附属高校、学校法人高水学園・高水高校（山口県岩国市）、広島県立安西高校、同井口高校、ノートルダム清心高校から合わせて 24 人が参加。広ユ協メンバーも協力・出席しました。このセミナーは、グローバル化が急速に進む現代において、多様な文化や価値観を理解・尊重し、地球的かつ現実的な視点で思考し、国際平和に貢献できる青年を育成することを目的に開催しているものです。



## <午前>

### 講演

スコットランドから見た日本～国際交流員として感じること

講師 広島市国際交流員 アンドリュー・デンプスターさん  
(イギリス・スコットランド出身)

講演では、国際交流員のアンドリュー・デンプスターさんが、「スコットランドから見た日本～国際交流員として感じること」と題して話されました。イギリスはスコットランドを含む4つの地方からなり、「日本と異なって言語も民族も違う多民族共生の国家であり、国際性に富んでいる」と紹介されました。そして世界における日本は、「核兵器廃絶に向けて役割のある国」と強調されました。



### 体験発表

#### ① スイスを訪問して

第20代高校生平和大使 小林美晴さん (広島大学附属高校2年)

体験発表では、2017年の高校生平和大使である小林美晴さん (広島大学附属高校2年) が話されました。小林さんは今年8月、広島・長崎の市民団体「高校生平和大使派遣委員会」が派遣した平和大使22人 (外務省委託・ユース非核特使も兼ねて) の一員として、スイス・ジュネーブの国連欧州本部訪問や、核兵器保有国を含めた大使や外交官も出席したレセプションで、祖父の母の被爆死などを通し平和をアピール、核兵器廃絶へ意見交流や相互理解を深めました、と報告。締めくくりで小林さんは、「伝えることの大切さを痛感しました。私の小さな事かも知れないが、少しでも核兵器廃絶を考えていただくことができたのかと思う」と力を込めて語られました。

#### ② 「ユネスコスクール」学びと協力の輪を

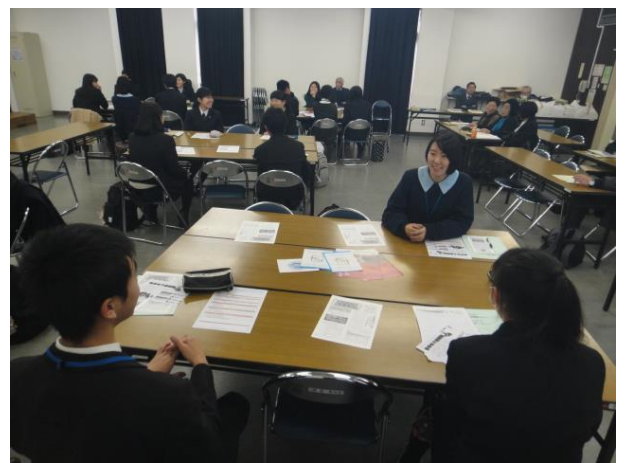
高水学園・高水高校の鶴川梨音さん、大崎ひな子さん、赤川龍君

続いて高水学園・高水高校の鶴川梨音さん、大崎ひな子さん、赤川龍君が、『「ユネスコスクール」学びと協力の輪を』をテーマに、パワーポイントを使って、岩国ユ協高等部の環境・福祉の取り組み、同校卒業後の青年部との交流、ユネスコスクール同士の岡山・広島・山口合同の研修会の継続開催などについて、地域に根差した活動を報告され注目されました。



## 意見交換

この後、広島大学附属中・高校の藤原隆範教諭をコーディネーターにして、意見交換の時間へ。編成は5班（当日受付で組メンバー振り分け）、実習はまずデスクごとに「班長」を選出すること（選出方法は班ごと自由）から始まり、トーキングテーマは、藤原教諭が予告なしで、その場で提案。「私が今年1年で、一番に思い出に残ったこと」について話し合うことに。そのあと、活発なトーキングが行われ、各班がまとめを発表、「短時間で意見を出し合うことの難しさ、や「違いを認めながらどう一致点を見出すか、表現するか、など、多くのことを学ぶトレーニングの時間となりました。



## <午後>

### コーアクション（世界寺子屋運動募金活動に参加しよう！）

午後1時過ぎからは、コーアクション（世界寺子屋運動募金活動に参加しよう！）で、場所を市内中区八丁堀交差点の天満屋ビル前歩道に移動。高校生や協会メンバーは、ユネスコ協会の横断幕やのぼりを掲げながら、世界の恵まれない子どもたちが教育を受けられるようにするための、協力を呼びかけるチラシを配布、大声で「ユネスコの寺子屋運動です。宜しくお願いします」と、市民にアピールしました。街頭に立っていただいた皆様には、大変にお疲れ様でした。道行く市民の皆様からの寄金は、43,692円にのぼりました。



寄金は12月25日(月)、南区宇品郵便局から、日本ユネスコ協会連盟宛てに振り込みさせていただきました。有難うございました。